

## NPO 法人瀬戸内西部遊漁船協議会活動報告

日 時 平成 30 年 7 月 1 日(日) 4:30~16:30

内 容 第 2 回タイラバ大会(釣り大会・清掃活動)

参加者 総勢 205 名  
大会参加者 150名  
協議会員 42名  
大会協力者 13名

競技船数 19 艇

協賛 企業・団体・店舗 85 社  
協賛 個人 5 名

報道機関 TV テレビ愛媛  
「決定版！チョーさんの釣り情報」7 月 15 日放送予定  
雑誌 「釣り画報 8 月号」7 月 20 日発売  
「レジャーフィッシング 9 月号」8 月 5 日発売

### 活動プログラム

05:00 駐車場解放 随時受付開始  
06:30 開会式(理事長挨拶・趣旨説明・大会ルール説明)  
06:45 乗船開始  
07:15 各船スタート競技開始  
09:00 陸上スタッフ 9 名による会場周辺及び海岸清掃活動(約 1 時間)  
13:30 競技船帰港  
13:40 検量開始  
14:30 海上保安庁交通課による安全セミナー  
14:35 メーカースタッフによるトークショー  
14:50 来賓紹介(NPO 法人瀬戸内西部遊漁船協議会会長 福本 勝)  
15:00 表彰式  
15:15 お楽しみ抽選会  
15:25 記念撮影  
15:30 閉会式(副理事長挨拶)  
15:40 参加者解散

### ＜活動内容＞

前日の豪雨、北上する台風7号と心配された天気でしたが、大会当日だけは穏やかなうす曇りの絶好の釣り日和が予想されました。しかし早朝、堀江港が濃い霧に覆われたために予定よりも30分遅らせての開会式となりました。

6:30 井上 満理事長より挨拶と趣旨説明を行い参加選手に協議会の活動内容を理解していただき、その後大会実行委員長 濱本 誠より競技ルール説明すると共に選手への激励を行いました。



ちょうどその頃には霧が薄れ視界が確保できるようになったので、選手は各競技船に乗船して沖合いに待機。全船乗船完了した7:15 警笛を合図に一齐スタートになりました。



9:00 より陸上スタッフ 9名による大会会場周辺及び海岸線清掃活動を約 1 時間行い大型ゴミ袋 6 袋のゴミを収集。昨年の清掃時に比べ格段にゴミが少なくなっており、地域の方の環境美化への意識が感じられました。



13:30 堀江港に続々と競技船が帰港。栈橋に到着した船からは重たそうにクーラーを運ぶ参加者や、知人と釣果を報告し合う声で堀江港が一気に活気立ち、検量器に大きな鯛が乗せられるたびに選手や見学に集まってきた地元の方々の中から歓声が上がりました。



14:30 からの第六管区海上本庁交通課による安全セミナーでは、今年より全面義務化されたライフジャケットについての話などをしていただきました。



14:35 より、釣具メーカー6社のスタッフ・インストラクターによるトークショーが行われ、選手として参加した松山沖の状況分析、新製品情報など選手が聞きたい話を生の話を聞かせていただきました。



14:50 来賓の NPO 法人瀬戸内東部遊漁船協議会会長 福本 勝様よりご挨拶をいただきました。



15:00 検量集計が終わり表彰式。70cmを超える大型のマダイが3枚も検量に持ち込まれ、松山沖の高いポテンシャルが感じられました。表彰式やその後の抽選会においては、協賛いただいたたくさんの賞品を手にした選手の笑顔を見ることが出来ました。





15:45 記念撮影、村上文将副理事長による閉会の挨拶をもって大会日程を終了しました。



(総評)

NPO 法人瀬戸内西部遊漁船協議会は発足後2度目の釣り大会の開催と言う事で、メーカー・釣具店・一般企業・個人・漁協・堀江港周辺住民の方の多大なるご支援とご協力をいただき盛大なイベントを開催することができました。心より感謝いたします。

尚、今回の収益金の一部は8月21日に松山・尾道の2会場において開催予定の「第1回 わくわく瀬戸内体験！」での事業資金とさせていただきます。本事業は養護施設の児童、及び一般の小中学生を招待し、釣り体験・稚魚放流・美化活動など海での原体験をプレゼントするものです。

今後も、更なる協議会の活動の拡大と社会貢献、環境保全、安全釣行の普及啓発等行っていきたいと思います。ありがとうございました。

